

# スラモル

## 高流動埋戻し材

特許 第2911412号  
特許 第5379893号  
特許 第5536260号  
商標 第4612184号



株式会社 金子コンクリート

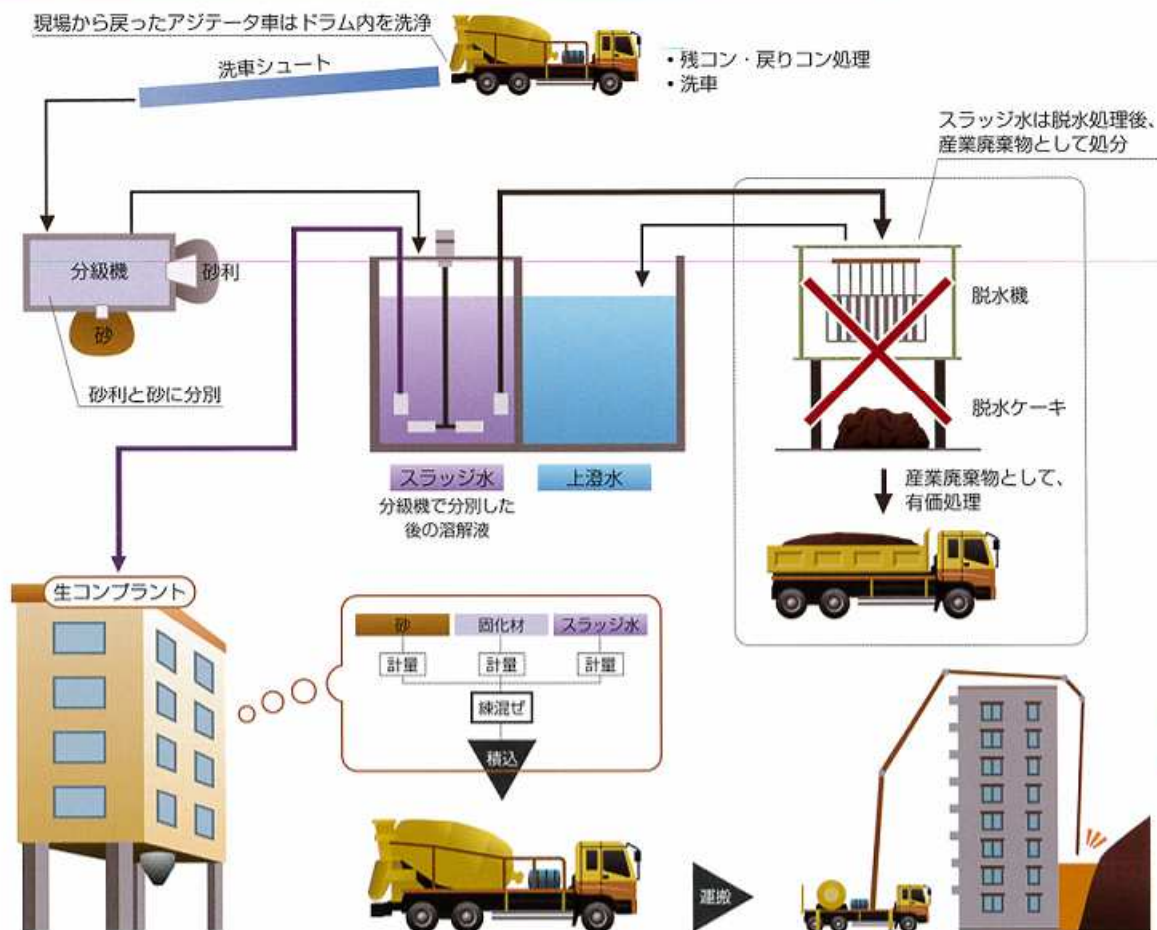
リサイクル品を原料として低コスト・高流動・エコを実現

# 生コン工場のアイデアから生まれた「スラモル」

## スラモルの特徴

- 01 アジテータ車で運搬し、現場で直接流し込みやポンプ圧送もモルタルなしでできます。
- 02 人件費の削減、重機車両の削減、工期の短縮ができます。
- 03 再掘削できる地盤強度から、翌日に足場を組める強度まで調整できます。
- 04 状況に応じては植栽の下地にも可能です。※直接の植栽はできません。
- 05 要求された流動性を、生コンスラッジ水と砂の混合割合によって抑制できます。
- 06 自ら締め固まるので、転圧用ランマーなどの機材も、人手も必要ありません。
- 07 土壌等を汚染する有害物質の溶出もありません。※定期的に溶質試験を実施しております。
- 08 生コンスラッジ水の増粘効果により、材料分離、ブリーディングが抑制できます。
- 09 埋め戻し材の効果時に於ける水和熱はほとんどありません。
- 10 長時間流動性を維持できるため、3～4時間後の打設が可能で、長距離の現場にも対応できます。

## スラモル製造工程



リサイクル社会の実現へ

工事現場・建設現場で必ずといっていいほど実施されている埋戻し作業。従来から、埋戻しには土や砂などが使用されています。しかし現場の声を聞いてみると、現場の環境や状況などにより、従来の土や砂だけでは補いきれない場合があることが判明しました。そこで金子コンクリートでは、従来の土や砂では対応しきれない現場に使用でき、さらにエコな商品を開発。建築・土木現場に使用されている材料をリサイクルすることでエコを実現しました。それが、低コスト・高流動・エコな埋戻し材「スラモル」です。

## スラモルの適用範囲

- 地中埋設管の埋戻し
- 地下タンクの埋戻し
- 建築床下空間の埋戻し
- 建築基礎の埋戻し
- 路面下部空洞充填
- 地盤沈下土間下充填
- 共同溝の埋戻し
- 液状化現象の対策
- 建築物の背面の埋戻し
- 地下鉄工事各部の埋戻し
- 急傾斜擁壁の裏込め
- 地下ピットの埋戻し
- 護岸の裏込め
- 防空壕の埋戻し
- その他狭い部分の埋戻し



建築基礎の埋戻し



敷地と擁壁間の埋戻し



埋設管の埋戻し



マンションと法面間の埋戻し

## 各種試験

フロー試験：埋め戻しをする場所や条件によりフロー値が変更可能

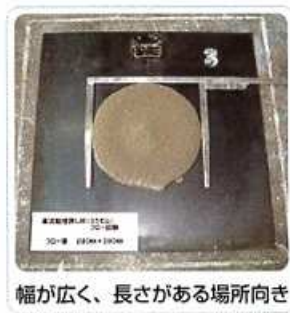
一般圧縮強度試験



幅が狭く、深い場所向き



一般的な場所向き



幅が広く、長さがある場所向き



一般圧縮強度の目安

| セメント量<br>(kg/m <sup>3</sup> ) | 4週強度<br>(N/mm <sup>2</sup> ) |
|-------------------------------|------------------------------|
| 10                            | 0.2~0.4                      |
| 30                            | 0.3~0.6                      |
| 50                            | 0.5~1.2                      |
| 75                            | 1.0~1.6                      |
| 100                           | 1.5~2.7                      |

上記以外の高配合にも対応しております。強度目安につきましてはお問い合わせ下さい。

打設後から作業開始までの目安

|     | 常用時     | 夏季      | 冬季    |
|-----|---------|---------|-------|
| 30  | 3日~3.5日 | 2日~2.5日 | 4日~5日 |
| 50  | 2.5日~3日 | 1.5日~2日 | 3日~4日 |
| 75  | 1.5日~2日 | 1日~1.5日 | 2日~3日 |
| 100 | 1日~1.5日 | 1日      | 1日~2日 |

打設箇所の状態や、季節により打設後から埋戻し箇所の上で作業開始までの目安時間が変わりますので、お問い合わせ下さい。

現場試験実施例



スラモルスライド価格：セメント量50kg/m<sup>3</sup>迄はベース価格  
セメント量50kg/m<sup>3</sup>以上25kg/m<sup>3</sup>増毎 +250円



株式会社 金子コンクリート

〒236-0003 横浜市金沢区幸浦2-5-2

TEL 045-784-0937 (直通)

045-784-5921 (代表)

FAX 045-701-3366

スラモル <http://suramoru.kanecon.co.jp/>

会社 <http://www7b.biglobe.ne.jp/~kanecon>

製造販売代理店

